

保健だより

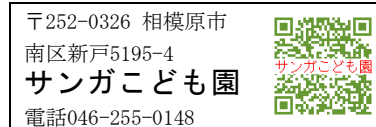
2012年9月1日（土）発行

9月1日は防災の日です

地震、台風などに備え、非常用品を揃えておきましょう。
水・保存食・ナイフ・タオル・救急用品・ラジオ・懐中電灯・
ライターなどがそろっているか点検しておきましょう。

～救急用品の点検をしましょう。～

ばんそうこう・ガーゼ・包帯・三角巾・脱脂綿・綿棒・
ハサミ・体温計・毛抜きピンセット・外傷用薬品などが
そろっているか点検しましょう。



9月9日は救急の日です

子どもの事故はちょっとした油断でおこってしまいます。
特に夏は親も子も開放的になり、人が大勢いる場所では、
誰かが見ているだろうと思ったりします。そこに落とし穴が
あります。日々の生活の身の回りに注意してお子さんの事故を
未然に防ぎましょう。



～救急車を呼ぶタイミング～

急いで病院へ行く手段が無く、子どもの症状が判断できない等の場合は迷わず救急車を呼びましょう。

【急病の例】

- ・下痢、嘔吐を繰り返し脱水症状になっている。
- ・38度以上の発熱のある「けいれん」（手足のつつ張り、顔面蒼白、唇のチアノーゼ）を3分以上起こしている。又は繰り返している。（3歳位まで）
- ・発熱していないのに「けいれん」を起こしている。
- ・呼吸状態がおかしい。
- ・意識状態がおかしい。

【ケガの場合の例】

- ・傷口が大きく、出血が止まらない。
- ・手足に変形や腫れがあり、骨折や脱臼が疑われる。
- ・頭部を強打し、嘔吐していたり、意識状態がおかしい。
- ・ハチに刺され、全身の発赤、呼吸状態がおかしい。（アナフィラキシーショック）

【その他】

- ・どのような経緯で傷を受けたか不明の場合、内臓などが損傷を受けている可能性があります。又、傷は軽いが子どもの様子がおかしい時など。

